

大学院 児童保育研究科 博士後期課程

(2022年度 入学生用)

●修了必修 ○選択必修

区分	科目名	授業方法	単位数	開講年学期		修了	
				年次	期別		
特殊研究科目	教育学特講	講義	2	1	後期	○	
	幼児教育学特講	講義	2	1	後期	○	
	保育学特講	講義	2	1	前期	○	
	小児医学特講	講義	2	1	後期	○	
	子ども心身医療特講	講義	2	1	前期	○	
	発達心理学特講	講義	2	1	前期	○	
特殊研究科目の必要単位数						4単位	
課題演習科目	保育・教育研究領域	教育学演習	演習	3	1年次前期→2年次前期→3年次後期		○
		教育方法学演習	演習	3	1年次前期→2年次後期→3年次前期		○
		幼児教育学演習	演習	3	1年次前期→2年次前期→3年次後期		○
		保育実践研究演習	演習	3	1年次後期→2年次後期→3年次前期		○
		保育内容研究演習	演習	3	1年次前期→2年次前期→3年次前期		○
	保育・教育研究領域の必要科目数						1科目
	子どもの健康研究領域	小児医学演習	演習	3	1年次前期→2年次前期→3年次後期		○
		子ども心身医療演習	演習	3	1年次後期→2年次後期→3年次前期		○
		発達心理学演習Ⅰ（発達支援）	演習	3	1年次後期→2年次前期→3年次後期		○
		発達心理学演習Ⅱ（発達臨床）	演習	3	1年次前期→2年次後期→3年次前期		○
		臨床心理学演習	演習	3	1年次後期→2年次後期→3年次後期		○
子どもの健康研究領域の必要科目数						1科目	
課題演習科目の必要単位数						6単位	
研究指導科目	研究指導	演習	—	1～3	通年	●	
修了に必要な総単位数						10単位	

長期履修制度について

社会人選抜入学試験による入学者で、標準修業年限（3年）内での履修が困難な、次のいずれかに該当する方は、4年、5年または6年の長期履修を申請することができます。

1. 入学時において職業を有し、就業している者
2. 家事、育児、介護等にあたるため、修学、研究の時間が制限される者
3. その他、相当な事情があると本学が認めた者

申請する場合は、あらかじめ指導教員の承諾を得たうえで、入学年度の2月末日までに、「長期履修申請書」及び「在職証明書等の必要書類」を、A学舎事務室にご提出ください。

なお、博士後期課程の長期履修を許可された方は、在学中1回に限り、期間の短縮または延長を、各学年の2月と7月に申請することができます。但し、修了予定の学年時には、申請できません。